

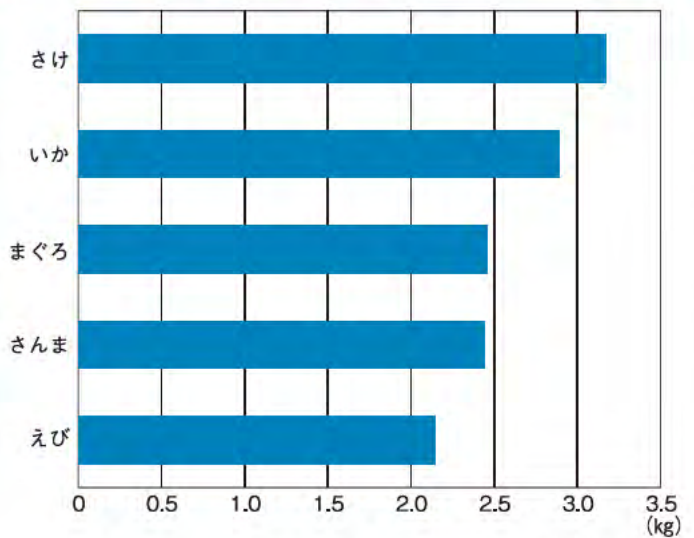
## 2 日本の水産物の現状

### Q 魚をどのくらい買っているの？

日本では、1年間に1世帯当たり36kgの生鮮魚介類を購入しています。家庭で購入されている魚介類のうち、人気ベスト5を挙げると、さけ、いか、まぐろ、さんま、えびの順になっています。



購入数量ベスト5 (2009年)



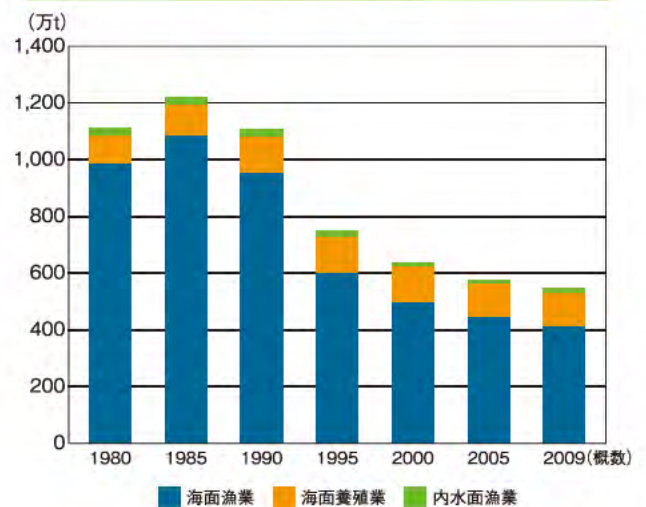
総務省「家計調査」



### Q 漁業の生産量は？

国内の漁業生産量は減ってきています。昭和63年には1,278万4,700トンあった漁業生産量が、平成21年には542万2,300トンになっています。

漁業生産量の推移

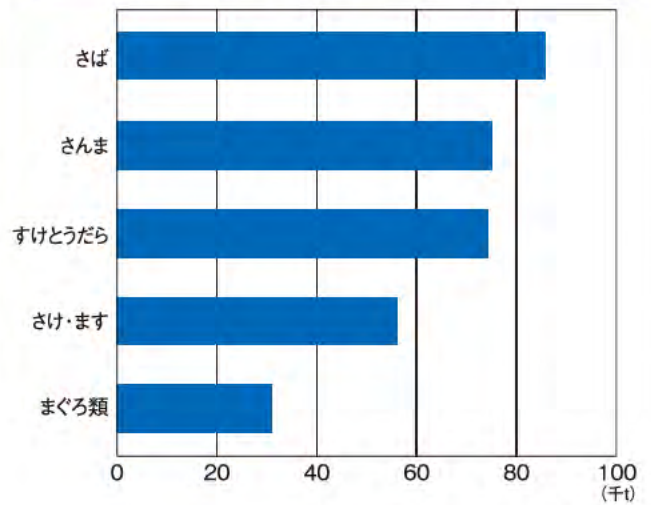


農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

## Q 輸出の多い魚は？

近年わが国では魚介類の海外への輸出が徐々に増えてきています。輸出の多い魚を魚種別に挙げると、さば、さんま、すけとうだら、さけ・ます、まぐろ類になっています。

輸出の多い魚種ベスト5 (2009年)

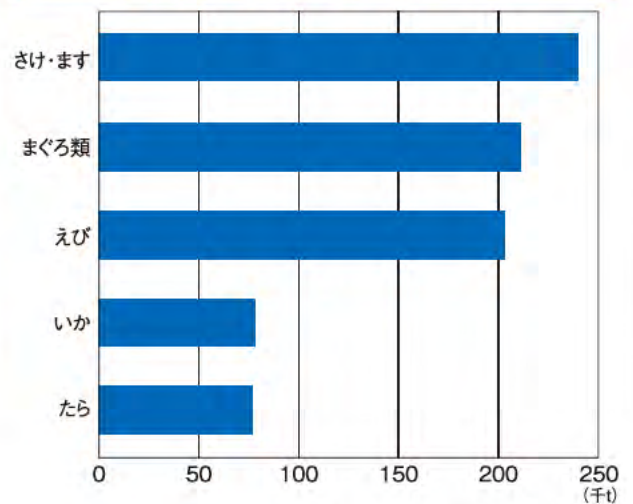


農林水産省「農林水産物輸出入概況」

## Q 輸入の多い魚は？

わが国の輸入が多い魚を魚種別に挙げると、さけ・ます、まぐろ類、えびなどの順になります。さけ・ますについては、チリ、ノルウェーなどから、まぐろ類については台湾などからの輸入が多くなっています。

輸入の多い魚種ベスト5 (2009年)

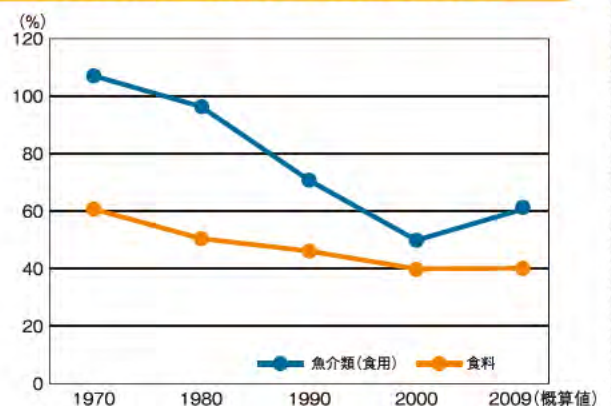


農林水産省「農林水産物輸出入概況」

## Q 魚は自給できていますか？

食用の魚介類の自給率は、現在62%で、最近は持ち直しの傾向もあります。

食料自給率と魚介類の自給率の推移



農林水産省「食料需給表」